

震災教訓の共有むすび塾@インドネシア (河北新報社と共催)

掲載日:2013年05月15日

(C)河北新報社

(19) 待 逢 (東三陸復興財団) 2013年5月15日(水曜日)

いのちと地域を守る



「金銭的援助は、被災地が抱えている課題を解決する上で重要な役割を果たしている。しかし、被災地が抱えている課題は、単に金銭的援助だけでは解決できない。被災地が抱えている課題を解決するためには、被災地の人々とともに取り組む必要がある。」



「被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。」



「被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。」

■むすび塾に参加して

「被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。」

投票で集団移転を決定



スラバヤ市東部の被災地を視察する。被災地の住民とむすび塾の一行。船の甲板に集まり船頭の前には、仕事への誇りと喜びが表れている。



「被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。」

減災・復興支援機構(東京)

木村 拓郎理事長に聞く

遺構の保存意義を確認



「被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。」

東日本大震災の教訓を生かすため、河北新報社は被災地住民らと一緒に地震・津波に備える巡回ワークショップ「むすび塾」を開催しています。名称には、地域と人、人と人のつながりを強め、防災・減災に結び付けていきたいとの思いを込めました。

語り部から

- 多賀城市の東北学院大3年 渡辺 英莉さん (21)
- 大崎市の水理学会指導員 安倍志摩子さん (51)
- 東松島市の貝田行政区長 中山 勝文さん (68)



被害の伝承 重要性理解

「被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。」



つらい思い分かち合う

「被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。」



高台への避難 習慣化を

「被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。被災地の人々とともに取り組む必要がある。」